授業科目　ボランティアの世界

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・スポ・社会・看護・情報
青木　茂	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

【概要・一般目標：GIO】

「ボランティアとはなんですか？」と問われたら皆さんはどのように答えるでしょうか。学生の皆さんにとってボランティアは、活動者として自己実現、社会貢献の機会となる側面と将来の保健・医療・福祉専門職として連携・協働を図るパートナーとしての側面があり得る。この講義では、この両側面の立場を理解できるよう、様々な活動事例を通してボランティアの本質や意義を考える。

【学習目標・行動目標：SBO】

1．ボランティアの本質と意義を理解する。
2．ボランティアとさまざまな領域がつながりをもっていることを理解する。
3．保健・医療・福祉専門職とボランティアとの連携・協働の関係を理解する。
4．福祉教育とボランティア活動の関係を理解する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ボランティアとはなに？	1,2,3,4	講義
2	災害とボランティア	1,2,3	講義
3	子どもの問題とボランティア	1,2,3	講義
4	高齢者の問題とボランティア	1,2,3	講義
5	障がい者の問題とボランティア	1,2,3	講義
6	環境問題とボランティア	1,2,3	講義
7	国際問題とボランティア	1,2,3	講義
8	福祉教育とボランティア活動	1・2・3・4	講義

【使用図書】	＜書名＞　＜著者名＞　＜発行所＞　＜発行年・価格 他＞
教科書（必ず購入する書籍）	使用しない
参考書	随時紹介する
その他の資料	毎時間プリントを配布する

【評価方法】

出席状況、授業態度、定期試験の結果を総合して評価する。

【履修上の留意点】

ボランティア活動は本来自発的な活動であるから、受講者は、自発的・主体的に学習してほしい。またボランティア実践を通して他者との直接的な人間関係に責任をもつことの重要性についても体験的に学んでほしい